

# 胃カメラ検査問診票

記入日：

診察券ID \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 歳)

1 過去に検診で指摘を受けたり、現在治療中の下記のご病気はございますか？

○ 心臓の病気、高血圧症、ペースメーカーの留置 (ある・ない) ・病名 \_\_\_\_\_

○ 脳の病気 (ある・ない) ・病名 \_\_\_\_\_

○ 呼吸器の病気 (ある・ない) ・病名 \_\_\_\_\_

上記以外にかかっている病気はありますか？ (ある・ない)

・ 緑内障 ・ 前立腺肥大症 ・ 甲状腺亢進症 ・ 糖尿病

・ 婦人科疾患 (子宮筋腫、子宮後屈、卵巣嚢腫) ・ その他 ( \_\_\_\_\_ )

2 現在、服用中の薬をすべてご記入ください (市販薬・サプリメントを含む) (ある・ない)

3 薬のアレルギーについて

・ 歯の麻酔で気分が悪くなったことはありますか？ (はい・いいえ)

・ その他に薬のアレルギーはありますか？ (はい・いいえ)

薬剤名： \_\_\_\_\_ その時の症状： \_\_\_\_\_

4 タバコは吸われますか？ (はい・いいえ)

過去： \_\_\_\_\_ 年前まで \_\_\_\_\_ 年間 \_\_\_\_\_ 本/日 現在： \_\_\_\_\_ 年間 \_\_\_\_\_ 本/日

5 飲酒されますか？ (飲む・飲まない) 飲酒時顔が赤く (なる・ならない)

過去： \_\_\_\_\_ 年前まで \_\_\_\_\_ 回/週 \_\_\_\_\_ 杯くらい、現在： \_\_\_\_\_ 回/週 \_\_\_\_\_ 杯くらい

6 女性の方へ 妊娠または授乳中ですか？ (いいえ・妊娠中・授乳中)

7 今までに胃カメラを受けたことはありますか？

(はい・いいえ)

最後の検査は、 \_\_\_\_\_ 年頃 \_\_\_\_\_ 病院/クリニック

8 ピロリ菌の検査をされたことはありますか？ (はい・いいえ・今回検査希望)

はいの場合→結果 : 陽性だった → 除菌: \_\_\_\_\_ 年・除菌していない

: 陰性だった

9 今までに胃や食道の病気をされたことはありますか？ (はい・いいえ)

( \_\_\_\_\_ )

10 血縁関係の方で、胃がん、ピロリ菌感染症の方はいますか？ (はい・いいえ)

病名： \_\_\_\_\_ 続柄： \_\_\_\_\_

11 総入れ歯・部分入れ歯・ぐらつく歯はありますか？ (はい・いいえ)

12 出血時に血液がとまりにくいなどの症状はありませんか？ (はい・いいえ)

13 胃カメラの所見でピロリ菌の検査、組織をとってみる検査 (病理検査) が必要な病変が見つかった場合に検査をさせてもらってもよろしいですか？

(はい・いいえ)

# 上部消化管内視鏡検査に関する説明と同意書

様

診察券ID

## 【目的・方法】

食道、胃、十二指腸の疾患を診断するための検査です。

のど（鼻からの場合は鼻）を麻酔し、ご希望により鎮静剤を注射します。その後、内視鏡を挿入し、空気で膨らませながら食道・胃・十二指腸を観察します。粘膜の一部を採取（生検）し、顕微鏡検査（病理検査）を行うことがあります。強い咽頭反射や、胃内に食べ物が残っていて観察が困難場合など、検査を中止することがあります。経鼻内視鏡をご希望の場合、鼻の奥が狭くて挿入が不可能な場合は口からの挿入に切り替えることがあります。

アルコールアレルギー、キシロカインアレルギーの既往のある方は必ずお申し出ください。

## 【偶発症】

本検査において下記の偶発症が報告されています（過去 5 年間の消化器内視鏡学会全国調査）。

- ・ 内視鏡による消化管粘膜の出血・穿孔 発生頻度：0.005% (2 万人に 1 件)
- ・ 局所麻酔薬アレルギーによるショック（呼吸困難・血圧低下等）発生頻度：0.004% (2 万 5 千人に 1 件)
- ・ 経鼻内視鏡検査の場合、鼻出血・鼻痛、まれに頭痛や歯痛を認めることがあります。多くの場合、数分で治まります。
- ・ その他 マウスピースを強く噛むことで、ぐらついている歯が折れたり欠けたりすることがあります。高齢者などでは、唾液の誤嚥により、遅れて肺炎を起こすことがあります。

上記の合併症が起きた時は、最善の処置を行います。この際の費用は通常の保険診療で行われます。

## ※鎮静剤使用について

痛みや不安を感じる程度にはかなり個人差がございます。鎮静剤を使用すると不安や苦痛が少なく検査を受けていただけます。使用する場合は、検査直前に点滴から鎮静剤を注射します。

## 【注意事項】

鎮静剤を使用した場合は、眠気・ふらつきが出現するため、最低30分以上は院内で休んでいただきます。鎮静剤の効果は個人差がありますが、転倒の危険性が高まり、判断力が鈍くなることがあります。また、効果は時間とともに弱くなっていきますが、ご自分ではあまり感じなくとも、当日中はずっと続いているとお考えください。眠気のある状態、判断力の鈍った状態での運転は非常に危険ですので、当日は、車・バイク・自転車などの乗り物の運転はできません。万が一事故を起こした場合は自己責任となり、当院では責任を負いかねます。

妊娠・授乳中の方、高齢の方、心臓・肺・肝臓の機能が弱い方には使用できない場合があります。また、検査後に重大な判断を要する仕事がある方にも使用できません。また、鎮静剤の使用により呼吸抑制（停止）、低酸素血症、血圧低下などが報告されています。過去5年間の内視鏡学会全国調査（約1200 万件）では鎮静剤による合併症は 178 例が報告されております。合併症が起きた時は、適切な処置を行いますが、その際の診療は通常の保険診療で行われます。

使用しない（医師が必要と判断した場合には検査中ご説明の上、使用することがあります）

使用する

※鎮静剤の効果には個人差があり、きめ細かく調整しても、結果的にご希望に添えない場合がある事をご了承ください。

以上、ご承諾いただいた方はご署名の上、検査前にご提出下さい。

承諾日：            年            月            日                            **ご署名**

※ 当院ホームページにて内視鏡画像の掲載（匿名、撮影日時等個人情報につながる掲載はございません）を行うことがございます。掲載の許可の可否を○印で記載下さい。なお、許可の可否により診療に影響がでることは一切ございませんのでご安心下さい。

・ 掲載を許可する

・ 掲載を希望しない

御所東にしかわクリニック  
院長 西川 太一郎

